

「八戸とフィリピン 教育で結びつけ」

八戸学院大前学長

3月で八戸学院大学長を
退任した大谷真樹氏が主宰
する「八戸ビッグバレー」
の交流会が5月31日夜、東
京・北千住で開かれた。大
谷氏は現在、八戸市の学校
法人・光星学院の関連会社
「八戸学院グループ」社長。
大谷氏は同社の事業を紹介
しながら、参加者たちに近
況を報告した。

「八戸ビッグバレー」は
同大学の起業家養成講座の
1期生の交流の場として、
大谷氏が2009年に発足
した。この日の交流会は、そ
の東京支部の10回目のネッ



交流会で八戸学院グループの事
業や自身の近況について語る大
谷氏。5月31日、東京・足立区

トワーキング(情報交換交
流会)として開催し、首都
圏在住の八戸市出身者や、
八戸を応援する人たち45人
が参加した。

大谷氏は、同社が進めて
いるフィリピン
に高校や大学を
開設する事業に
ついて「6月13
日に高校がスタ
ートする。来年
は大学もつく
る。ここで教育
を受けた子たち

が、八戸で介護やシステム
開発の仕事に就く」と説明。
「八戸には人がいない、フ
ィリピンには仕事がないと
いう両方の課題を教育で結
びつけ、将来の日本の人口
減少を解決しようという事
業。今後、八戸では毎年10
人単位でフィリピン人が増
える」と展望を示し、「壮
大な社会実験でもあり、う
まくいけば一つのモデル事
例になる。皆さん、応援を
お願いします」と語った。

(白取心平)